



第54号

発行/社会福祉法人 素心会  
責任者/事務局長 高瀬 尚人  
〒259-0103

神奈川県中郡大磯町虫塗39番地1  
TEL. 0463-71-1255  
レイアウト・印刷 貴峰荘ワークピア



## お餅をつきました



デイセンター

支援センター



家庭にたたみ一畳ほどの小さな畑がある。春から夏にかけてはトマトやキュウリを植え、日に日に大きくなっていくのを眺めるのが楽しみ。収穫が終え冬を迎える。冬は春夏にむかっていくための苗を植える。成長するのは夏に比べるとゆっくりで華やかさはない。それでも朝窓を開け、ピンと張った苗を見るとなんだかこれもうれしくなる。土をさわっているとなんだか楽しくなる。ときどき土の中から大きな幼虫がでてくる。いつたい何の虫になるのか、なんて思いながら土に戻す。いつか田舎暮らしをしたいと思つていい。電気、ガス、水道くらいはある。電気、ガス、水道くらいはあってほしい。のんびりできる空間と土や畑があれば暮らしていける。北から南いろいろな土地で過ごしてみたい。しつくりきたらその場所で最期を過ごしたいなんて思つている。1年なんてあつといふ。だから今この生活を大切にしないと未来へ続かないと思つている。でも今更ながら生きる力つて必要なとつくづく感じる毎日である。

素心学院 支援二課長

磯崎ひでみ

むしごぼ ニジユウヨンバンチ  
虫塗24番地



## 後援会活動について（クリスマス飾りつけ）

例年、年末の後援会活動は、草刈り等の環境整備を行っていますが、今年度は後援会からの寄付により購入したクリスマスイルミネーションの飾りつけを役員のかたがたと職員で実施しました。建物の外壁、バルコニー、グラウンド、立木など苦労して設置したかいもあり、きれいにライトアップされ、クリスマス会も大いに盛り上がり、利用者の皆さんも大喜びでした。今年はイルミネーションを追加購入してさらに華麗なものにと考えています。寄付をいただきました後援会に、また、当日ご協力いただきました役員の皆さんにあらためて御礼申し上げます。

総務課  
課長代理 濑戸洋平



11月10日のお誕生日で数え年80歳となられた武田和子さんを利用者の会と初音寮のみなさんでお祝いしました。ちゃんとちゃんとこは紫色を着てもらい、とてもお似合いです、武田さんにも笑顔が多くみられ、利用者の方々に金寿のお祝いをしてもらつたことをうれしそうにお話していました。88歳の米



寿、また、その後のお祝いも元気な姿で迎えられるように願っています。  
素心学院 前島杏子

調べてみると、高さは60メートルまで成長し、寿命は、なんと300年以上で、外国では聖なる樹木として崇拜している国もあり、木の言葉は、「あなたのために生きる」「あなたを待つ」だそうです。

シンボルかのように、そびえ立つ、素心のヒマラヤ杉にも幾度かの危機がありました。土地を有効活用するため、伐採したらどうだろうか、という意見が交わされたのです。しかし、その度に、「誰かが、想いを込めて植えた樹木であろうから、伐採すべきではない」という意見が勝つきました。

いつ、だれが、なぜ、植えたのか、明確にな



素心デイセンター 小野田俊樹



らなまま、取材を続けていきました。その答えを教えてくれたのは、保護者のかたでした。学院保護者会元会長高木昌子さんに、お話を伺つたところ、「保護者のノヨリさんが寄付されたものだ」とお聞きしました。ノヨリさんの娘さんは、当時、学院に入所され、その後、退所されました。もう40年以上も前のことです。まだ、2メートル程の木だったそうです。その想いは、「あなたのために生きる」「あなたを待つ」だったのではないでしょうか。「素心」は、利用者と保護者の協力や想いがあつてこそ、伸びていくと、再認識させてくれたように思いました。ヒマラヤ杉は、高く、更に高く、今もなお、成長を続けております。

最後に、取材に協力していただいた保護者、後援会の方々に、感謝したいと思います。有難うございました。

ヒマラヤ杉が立っています。高さ20メートル以上、まるで「素心会」のシンボルかのように、そびえ立ち、その姿は神々しくもあります。ヒマラヤ杉は、いつ、だれが、なぜ、植えたのでしょうか。常務理事に話を聞いたら「あくまでも想像ですが、遠くからも目立つ樹を植えたかったのではないか。ヒマラヤ杉の木の言葉は、あなたを待つ、ですから」と言つておりました。

ヒマラヤ杉が立つようになりました。その答えを教えてくれたのは、保護者のかたでした。学院保護者会元会長高木昌子さんに、お話を伺つたところ、「保護者のノヨリさんが寄付されたものだ」とお聞きしました。ノヨリさんの娘さんは、当時、学院に入所され、その後、退所されました。もう40年以上も前のことです。まだ、2メートル程の木だったそうです。その想いは、「あなたのために生きる」「あなたを待つ」だったのではないでしょうか。「素心」は、利用者と保護者の協力や想いがあつてこそ、伸びていくと、再認識させてくれたように思いました。ヒマラヤ杉は、高く、更に高く、今もなお、成長を続けております。

## ヒマラヤ杉について

素心デイセンターの横に、5本の

元会長高木昌子さんに、お話を伺つたところ、「保護者のノヨリさんが寄付されたものだ」とお聞きしました。ノヨリさんの娘さんは、当時、学院に入所され、その後、退所されました。もう40年以上も前のことです。まだ、2メートル程の木だったそうです。その想いは、「あなたのために生きる」「あなたを待つ」だったのではないか。ヒマラヤ杉の木の言葉は、あなたを待つ、ですから」と言つておりました。

ヒマラヤ杉が立つようになりました。その答えを教えてくれたのは、保護者のかたでした。学院保護者会元会長高木昌子さんに、お話を伺つたところ、「保護者のノヨリさんが寄付されたものだ」とお聞きしました。ノヨリさんの娘さんは、当時、学院に入所され、その後、退所されました。もう40年以上も前のことです。まだ、2メートル程の木だったそうです。その想いは、「あなたのために生きる」「あなたを待つ」だったのではないか。ヒマラヤ杉の木の言葉は、あなたを待つ、ですから」と言つておりました。

# 家族ペントリーレー

素心学院

吉村 宏さん  
吉村由起子さん(妹)



素心で暮らして二十五年。青年だった兄も今や立派なお腹をもつおじさん。最近ではメタボ解消のため、職員の皆さんのが食事や運動で工夫、努力をしてくださっているようです。

しかしそんな苦労が帰宅で一変、なんとも申し訳ないことになります。

毎回帰宅日誌に書いていることですが、兄は帰宅すると、まずは服を全部脱ぎ捨て、外の見える日当たりと横になり、「いい新聞やつとくれ」と言つて新聞を要求、破いて小さく

こんな汚い兄を助手席に乗せて素心に戻れば、車を降りたとたん満面の笑み。あら不思議、職員に「今日はお風呂です」と言われば、さつさとお風呂へ行くではありませんか。

してから気に入つた一片を手に取り、無心に指先でペラペラ。これで音楽でもければ兄の至福の時。「ハアー やれやれ」と声が聞こえるようです。しかし、久しぶりの実家でゆつくりしているのはいいのですが、この後トイレと食事以外布団からまったく動かないのです。食生活も不規則になり、これでは体に良くないと散歩させるべく外に連れ出せば、車の前でニコニコ。その顔にこちらも負け結局はドライブに行くことになるため、私がいるときはほぼ毎日ドライブだけで一步も歩きません。

また、歯磨き、ひげそり、お風呂は絶対イヤ。完全拒否。母と私「家



## 芸術活動 始めました



素心デイセンター生活

介護2班は、今年度より芸術活動に主眼をおく活動へと大きく方向転換を

しました。従来の班の活動に加えて、絵画制作も日常的に行うようになり半年たちますが、曲にあります。利用者の創り出す音楽・絵画・陶芸には、見ていてうきうきするものがあります。それらの作品が作られていく過程を目当たりにできる喜び、完成した作品に対して自信が満ち溢れている作者、何度も何度も自身の作品を見返す人、自慢げに作品について話してくれる方、芸術活動ではそのような場面がいっぱいです。

素心会には私の自慢の芸術家が何人もいます。みんなに見てもらいたい、外部にどんどん知つてもらいたいアーティストたちです。素晴らしい作品の日の目を見る機会への手助けができたらと考えています。「芸術は難しい」「分からぬ」とよく聞く言葉です。たつた一人の鑑賞者が、なぜか惹かれる、なにか気になる、欲しい!と感じるこ

### 「大磯かわせみ」とは…

デイセンターで芸術活動が特に好きな利用者が集まり、班を越えて制作活動を行っているグループの名称です。平成26年9月30日、利用者3人で活動を開始。平成27年1月20日現在、就労Bからの参加もあり5人となっています。活動場所はグラウンドにある陶芸室、時間は毎週火曜日の10時~11時30分に行っています。

いて、兄は幸せ者です。兄も「あいや」と思つてはいるハズ。素心の皆さん、こんな兄をこれからもよろしくお願いします。

センターでは小さな一步かもしれませんが、法人としての大きな一步であると感じます。一般人ではなく芸術家のみなさんとともに、歩んでいます。法人内の他事業所からの参加も目指したいと思います。デイ

絵画ですが)に五人の利用者が参考するようになりました。ゆくゆくは、「大磯かわせみ」を先日から始めました。デイセンターで週一回、班を越えて、芸術活動(今は

動へと大きく方向転換をしました。従来の班の活動に加えて、絵画制作も日常的に行うようになり半年たちますが、曲にあります。利用者の創り出す音楽・絵画・陶芸には、見ていてうきうきするものがあります。それらの作品が作られていく過程を目当たりにできる喜び、完成した作品に対して自信が満ち溢れている作者、何度も何度も自身の作品を見返す人、自慢げに作品について話してくれる方、芸術活動ではそのような場面がいっぱいです。

素心会には私の自慢の芸術家が何人もいます。みんなに見てもらいたい、外部にどんどん知つてもらいたいアーティストたちです。素晴らしい作品の日の目を見る機会への手助けができたらと考えています。「芸術は難しい」「分からぬ」とよく聞く言葉です。たつた一人の鑑賞者が、なぜか惹かれる、なにか気になる、欲しい!と感じるこ

## 「職員インタビュー」

の世界に飛び込んでみよう  
と思ったことがきっかけで  
す。

今回は勤続11年目を迎える  
川崎太一さんです。

平成16年に素心学院で支援員と  
して採用され、平成25年度からは  
素玉寮・玉翠寮のリーダーとして  
中心的な役割を担っています。

**A2 Q2**  
10年以上素心学院で勤務  
していますが、あらため  
て振り返ってみてどのよ  
うに感じていますか。

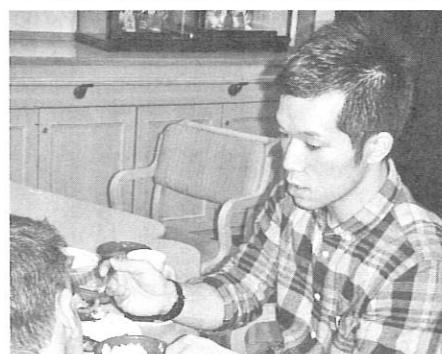
**A1 Q1**  
素心会に就職したきっかけ  
について教えてください。

もともとは児童のスポーツの  
指導に関わる仕事を希望し  
ていましたが、学生時代に知  
的障害者の入所施設で実習  
を経験したこと、生活に密  
着して支援することに魅力  
を感じるようになりました。  
卒業後、私の地元にある素心  
会の求人を目にし、まずはこ  
と努力、職員の支援の甲斐  
もなく急変する事例もあり、  
誠に残念に、また寂しさを感  
じることがあります。

用者の中には、病気により状  
態が悪化して特別な処置や  
対応が必要になってしまつ  
た方や、人生の最期を迎えた  
方もいました。本人の忍耐  
と努力、職員の支援の甲斐  
もなく急変する事例もあり、  
誠に残念に、また寂しさを感  
じることがあります。

**A3 Q3**  
寮のリーダーとして大事  
にしたいことについて教  
えてください。

就職したことのないようなこ  
との連続に精一杯でした。そ  
んな毎日の中で、とにかく今  
できることに集中してやり  
続けようと思っていたことを  
思い出します。関わるきつ  
かけが難しかった方と距離  
を縮められたときや、一方  
通行ではなく利用者の方か  
ら関わりを求められたとき  
などにこの仕事を選んでよ  
かつたと感じます。また、利



(インタビュアー 大野裕史)

今回のインタビューを通して、  
10年という節目を越えて、新たな  
思いで様々な場面で中心となつて  
業務に取り組む姿が印象に残りま  
した。

よつ支援していきたいです。  
まだまだ未熟ではあります  
が、職員一丸となつて努力し  
ていきたいと思います。

## 後援会会員募集

- 会費は個人一口、年 1,000円から  
法人・団体一口、年 10,000円から
- 会員には、新聞「そしん」をお送りしま  
す。
- 行事のご案内などをします。

### 会費の納入先

銀行振込は  
中南信用金庫国府支店  
014-0139723

郵便振替はどこの郵便局でも  
00270-0-19507 です。

口座名は  
社会福祉法人素心会後援会  
会長 鈴野七郎

※新しく会員になる方は  
ご住所を電話等でお知らせ  
いただくようお願いします。

事務局  
〒259-0103  
神奈川県中郡大磯町虫窪 39-1  
素心会後援会  
TEL.0463-71-1255  
FAX.0463-73-0009

素心会事業所  
アドレス

素 心 学 院	神奈川県中郡大磯町虫窪 39-1	TEL. 0463 (71) 1255 FAX. 0463 (73) 0009
素心デイセンター	神奈川県中郡大磯町虫窪 18-1	TEL. 0463 (71) 1256 FAX. 0463 (71) 1284
地域支援センターそしん	神奈川県中郡大磯町虫窪 18-1	TEL. 0463 (70) 3577 FAX. 0463 (72) 2577
さざんかホーム	神奈川県中郡大磯町国府本郷 1308	TEL. 0463 (61) 1519 FAX. 0463 (61) 1519
かもめホーム	神奈川県中郡大磯町大磯 1370 - 23 コープKY2F	TEL. 0463 (61) 5404 FAX. 0463 (61) 5404
つばきホーム	神奈川県中郡大磯町国府新宿 482 - 1	TEL. 0463 (71) 0990 FAX. 0463 (71) 0990
シーベルホーム	神奈川県中郡大磯町大磯 2232	TEL. 0463 (61) 5281 FAX. 0463 (61) 5281